

## FOCUS ON

# 薬剤耐性マラリア対策への包括的支援 Regional Artemisinin-resistance Initiative (RAI)



© The Global Fund / John Rae

## メコン地域からマラリアを 排除するために

大メコン圏におけるマラリア対策は現在、排除の好機を迎えており、同時に緊急対応を要する事態にもなっています。マラリア罹患率は2012年より71%減少し、死亡率は91%も低下しました。それでも、薬剤耐性がこれまでの成果を台無しにしかねないほど広がっており、地域を越えて拡大が続けば、世界の健康安全保障に大きな打撃を与える恐れがあります。

アルテミシニン（現時点で最も有効な抗マラリア薬の中心成分）に耐性があるマラリア原虫は、すでに大メコン圏6カ国すべてで検出されています。耐性出現はマラリア排除に向けたこの地域の対策にとって最も大きな脅威であり、取り組みを加速させなければならない最大の理由にもなっています。

## 課題

人類はいつの時代もマラリアに苦しめられてきましたが、この疾患は予防可能であり、必ずしも避けられないものではありません。世界各地でマラリアの地域的な流行が広がっている時でも、感染を遮断できた国や流行を終わらせた国は数多くあり、たくさんの人の命が救われています。

予防には、使いやすく、費用もそれほどかからないツールがあります。殺虫剤処理された長期残効型蚊帳は3ドルもしません。2016年の世界のマラリアによる死亡者数は2000年に比べると42%も減りました。これまでの世界的な進展は、マラリアを排除する手段を我々がすでに獲得していることを立証しています。

それでも、予防や治療の知識やツールがありながら、2017年には年間2

億1900万人がマラリアに罹患し、43万人が亡くなっています。大半は5歳未満の子どもです。マラリア原虫は様々な薬剤に耐性を持つようになり、殺虫剤が効かない蚊も出てきています。

多剤耐性マラリアが最初に現れたのはカンボジアとタイで、今では中国、ラオス、ミャンマー、ベトナムにも広がっています。マラリアのないメコン地域を実現するために、努力を倍増する必要があります。進展に満足して対策を緩めることで、局地的な後退を引き起こすのです。

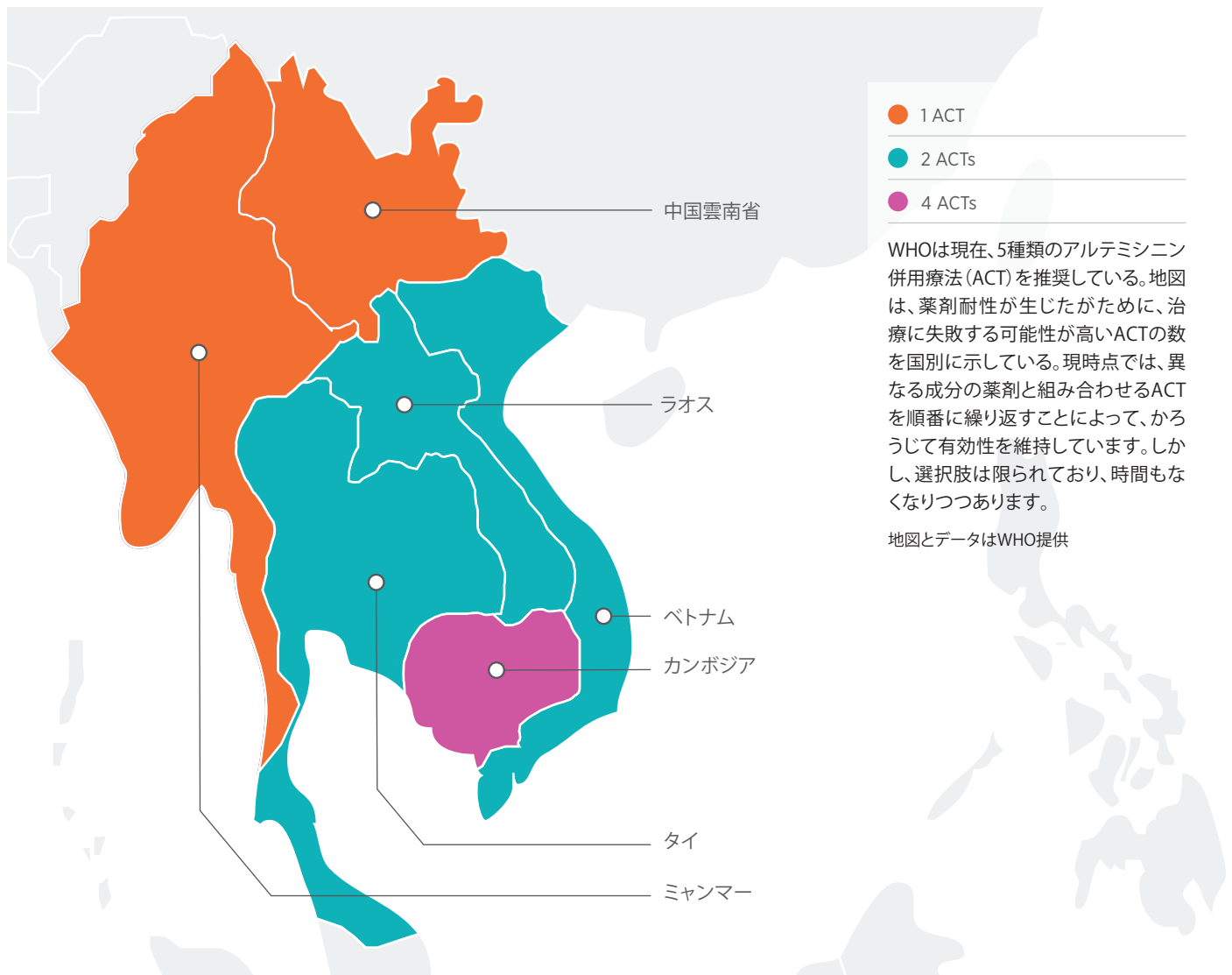
メコン地域で見られる耐性が、インドやサハラ以南アフリカなどマラリアの影響が最も大きい国々に広がれば、膨大な数の人命が失われ、巨額の経済的損失を被ることになります。



© The Global Fund / Quim Ryan Mattingly

ゴム農園の移動マラリアワーカー、タイ・ソキヤ(29歳)。最も近い保健所でも農園から約30キロ。ソキヤは蚊帳、マラリア検査・治療キット、コンドーム、下痢治療キット、駆虫薬など、医療品一式を提供している。

## 大メコン圏における多剤耐性マラリア





## グローバルファンドの対応策: RAI

グローバルファンドの薬剤耐性マalaria対策への包括的地域支援(RAI)は、大メコン圏の薬剤耐性マalaria出現に対応するため2013年に始まりました。

RAIを通じてカンボジア、ラオス、ミャンマー、タイ、ベトナムで、殺虫剤処理蚊帳や、専門施設でなくても使用できる迅速診断検査キット、良質な薬剤などの調達と配布を支援しました。その結果、2017年のマalariaによる死亡者数は2012年に比べて91%減少しました。

RAIの第2フェーズは2018年に始動しました。3年間で総額2億4200万ドルを超える資金を投入する予定で、グローバルファンドの地域支援としては最大規模の金額であり、特定の地域におけるマalariaの排除を明確な目標

に掲げた最初の支援でもあります。

供与される資金は、保健ボランティアやサーベイランス・システムを通じた各国の症例管理の支援にあてられます。集中的な訓練や情報技術、人材などへの投資が必要なが多いためです。RAIの第2フェーズは国境を越えて、移民や季節労働者などのための事業も支援しています。

症例がゼロになったとしても、各国はマalariaが再び発生しないようにするため、素早く対応でき、持続可能な保健システムを整備する必要があります。保健情報システムや統合型保健サービスの提供、国家保健戦略の支援、効率的なサプライチェーンの構築などに対する大規模な投資もRAIに含まれています。



1490万

各国はRAIの第2フェーズの間に長期残効型殺虫剤処理蚊帳を約1500万張配布する計画で、最も高い感染リスクにさらされている人々に蚊帳が100%行きわたることを目指している。

© The Global Fund / Gretchen Lyons



品質と有効性を確認するために抗マalaria薬のサンプル検査を行うミャンマー・カイン州食品医薬品局の薬剤師、ウー・ザー・モー。グローバルファンドは、市場から偽造品や、推奨された薬剤併用ではない「単剤療法」をなくす取り組みを支援している。生産者から卸売業者、小売業者、消費者に至るサプライチェーンの全行程において、私たちのパートナーが承認薬安定供給と服薬の継続を確保するために活動している。また、薬剤耐性の危険性に関する情報セミナーなども開催している。RAIの資金援助が始まった2014年にカイン州で行われた小売業者アンケートによると、ほぼ全ての店舗で単剤療法が行われていた。2016年にはわずか2店舗に減っている。

### 薬剤耐性の原因

人間は知らない間にマalaria原虫の薬剤耐性発達を手助けている。併用療法(通常はアルテミシニンとピペラキン)を適切に行えば、マalaria治療に効果がある。しかし、病院で診断や治療を受けなかったり、アルテミシニンを単剤で服用したり、治療水準や期間が不十分だったり、偽造薬を服用したりするところもあり、そうした場合も薬剤耐性の出現を助けてしまうことになる。

ゼロを目指す

カンボジアにおけるマalariaの年間死亡者数

2013年 ▶ 12人

2014年 ▶ 18人

2015年 ▶ 10人

2016年 ▶ 3人

2017年 ▶ 1人

2018年 ▶ 0人

## 戦略的アプローチ

マラリアを排除する目標の達成には、全症例を発見し、治療する必要があります。マラリア原虫の「宿主」として残っている人が1人でもいれば、更なる感染が起きる可能性があるのです。

しかし、大メコン圏では、多くの人は保健所から何十キロも離れた農村部に暮らしています。また、経済的な機会を求めて国内を移動し、さらに国境を越えることもあります。少数民族など差別に直面している人々は、公的な保健システムによる治療を受けようとしなないかもしれません。こうしたことがすべてマラリアを排除するための症例追跡の大きな妨げとなっています。

RAIには、遠隔地に住む人々、各地を転々とする人々、マイノリティの人々のニーズに応えるための戦略がいくつかあります。ひとつはRAI地域運営委員会です。資金の支援を受けた各種プログラムを実行する際の調整と協力を行い、説明責任を果たせるように、資金供与者、様々な機関、技術パートナー、研究者、コミュニティ、民間企業、地域内5カ国の政府機関が集まる委員会です。コミュニティのメンバーやそれぞれの地元でサービス提供を行うローカル組織は、実施上の問題を提起し、それぞれ特有のニーズが満たされるようにする場として地域運営委員会を利用することができます。

もうひとつの戦略は村落マラリアワーカーと移動マラリアワーカーのネットワークに訓練の機会を提供し、支援していくことです。こうした人たちは自らもコミュニティのメンバーであることが多く、住民にとっては隣人や同僚ですが、予防活動に取り組み、検査や治療を行えるだけの知識と資源を備えています。彼らが政府に症例を報告すると、保健医療の専門家がフォローし、流行の拡大を阻止する

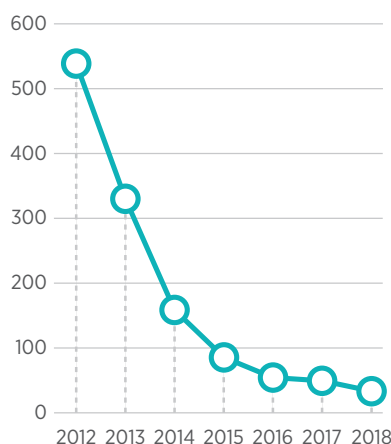
ことができるようになっているのです。

RAIのパートナー機関は5カ国で約3万3000人のマラリアボランティアを支援しています。そうしたボランティアがリスクのホットスポットの近くにいることにより、より多くの症例が発見・治療され、より多くの命が救われています。マラリアボランティアはまさにマラリアの排除に向けた取り組みの最前線に立っているのです。

メコン地域のマラリア排除は最後の一步に近づいています。これまでと同レベルかそれ以上の資金的なコミットメントが求められます。これまで我々は、サービスが到達しやすい、より単純な人口集団におけるマラリアを排除させてきました。今後、残された症例を発見し排除していくため、より多くの投資と技術革新、協力が必要です。

対策のアクセルから足を外せば、マラリアは再びその威力を巻き返します。この感染症を制圧するためには、継続的なコミットメントと投資を確保しなければいけません。

マラリアによる死亡者数の減少  
2012～18年



マラリアによる死亡が報告された地域：カンボジア、ラオス、ミャンマー、タイ、ベトナム

出典：WHO世界マラリア報告書2018年



ロン・リス(23歳)は村のマラリアワーカーとして約3年間働いている。人口1000人の村の誰でも、熱が出たら彼女に診てもらおう。村内で昨年発生したマラリア症例はわずか2件で、いずれも別の省で感染した人だった。

## グローバルファンドとは

グローバルファンドは、エイズ、結核、マラリアの三大感染症の流行を終結に導くための21世紀型パートナーシップです。政府、市民社会、民間部門、それぞれの疾患に影響を受けている人々によるパートナーシップとして、毎年約40億米ドルの資金を動員・投資し、100カ国以上で地元の専門家が運営するプログラムを支援しています。流行終結を阻むものに果敢に挑戦し、革新的なアプローチを活用することで、グローバルファンドはこれらの感染症に影響を受けている人たちのために力を合わせて取り組んでいます。